

2026年4月16日

報道関係各位

一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所

アンコンシャスバイアスに気づき、可能性が広がるきっかけを子どもたちへ!夏の自由研究にも
「ハットニヤール博士の研究所 2026」イベント、8月5日に開催決定!
東京都との共催決定/今年は教員50名も無料ご招待

一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所(東京都港区、代表理事 守屋智敬、以下、本研究所)は、東京都と初めて連携し、小学生を対象とした無料イベント「ハットニヤール博士の研究所」を、8月5日(水)に開催することを決定いたしました。両者の連携により、これまで子どもたちを中心に実施してきた本イベントを、保護者向けの学びの要素を充実させ、気づきと学びをさらに深める内容へとパワーアップします。また、教員50名を招待するなど、子どもたちにかかわる保護者や教員が主体的に学びに加わる開催形態は、今回が初めての試みです。

このイベントでは、「子どもたちの未来の可能性が広がるきっかけになること」を願い、その趣旨に賛同いただいた企業の皆さまとともに、アンコンシャスバイアス(無意識の思い込み)に気づく“とびら”を提供しています。2社が新規参画し、ミズノ株式会社が「スポーツ」を通して、株式会社ニチレイは「冷凍技術」をテーマとして、ハットとなる体験をご提供。今年も、森永製菓株式会社による「おかし」のとびら、パナソニック インダストリー株式会社による「かるた」のとびら、株式会社博報堂による「桃太郎」のとびらを通して、子どもたちにハットとなる体験を提供いたします。

「ハット!」となる体験の数々がきっかけとなり、「どうせ私には無理だ」ではなく、挑戦してみよう!と思えたり、「相手の立場で考えてみよう」といった心が育まれる等、一人ひとりのものの見方が変わることをめざします。

昨年は申込開始から4日で「満席」となり、キャンセル待ちも300名をこえたイベントです。「夏休みの自由研究」のテーマにも最適です。ぜひ、ご参加をご検討ください!

- ◆申込み期間(予定):①小学生 2026年5月19日(火)~6月15日(月)
※応募多数の場合は抽選となり、抽選結果は6月末にご案内予定です
- ②教員 2026年5月19日(火)~(先着順)
- ◆申し込み方法:公式HP(<https://hatto88.com>)より

イベント概要について

- 【名称】ハットニヤール博士の研究所 2026 in 東京
- 【日程】2026年8月5日(水)※2部制で開催(午前の部 9:20~12:00/午後の部 13:20~16:00)
- 【会場】日本科学未来館 7階 (〒135-0064 東京都江東区青海2丁目3番6号)
- 【対象】小学生300名 ※本イベント参加が初めての方を対象とさせていただきます
保護者 ※小学生1名につき、1名までとなります
教員 50名
- 【参加費】無料 (※完全予約制、応募多数の場合、抽選により参加者を決定します)
- 【主催】一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所、東京都
- 【後援】文部科学省/毎日小学生新聞/朝日小学生新聞
- 【公式HP】 <https://hatto88.com>

プレスリリース

東京都との共催について

東京都が令和4年度、5年度に実施した調査では、小学生(5・6年生)の約4割、高校生(1・2年生)の約5割が「男性(男の子)/女性(女の子)だから」と思うことがある」と回答し、小学生よりも高校生の方がその傾向が強まることが分かりました。年齢を重ねるにつれ、周囲からの影響を数多く受けることで、性別に関する「無意識の思い込み」を抱くことが考えられることから、幼少期から「無意識の思い込み」に気づききっかけを提供する本イベントの共催が決定しました。また、令和4年度の調査では、周囲の大人からの「性別を理由とした発言」が、小学生の性別に対する意識に影響を与えることが分かりました。保護者や教員等の大人も、自身の「無意識の思い込み」に気づき、意識・行動変容につなげていくことが必要との観点から、本イベントに保護者・教員セミナーをプログラムに組み込みます。

プログラム内容

(1) 子どもたちが参加するワークショップ(とびら)

アンコンシャスバイアスに気づききっかけとなる「2つのとびら」に参加。どのとびらになるのかは当日のお楽しみ!

- ◇おかしのとびら 【森永製菓株式会社】…お菓子をテーマに、ハツとなる体験を提供
- ◇可能性のとびら 【ミズノ株式会社】…スポーツを通して、ハツとなる体験を提供
- ◇かるたのとびら 【パナソニック インダストリー株式会社】…アンコンかるたによりハツとなる体験を提供
- ◇桃太郎のとびら 【山崎博司氏・小畑茜氏(株式会社博報堂)】…物語を通してハツとなる体験を提供
- ◇れいとうのとびら【株式会社ニチレイ】…「冷凍」のひみつをテーマにハツとなる体験を提供

(2) 保護者・教員セミナー

付き添いの保護者と、お申込みいただいた教員の皆様には、1つめのとびらを見学した後に、自身のアンコンシャスバイアスに向き合いながら、子どもとのよりよい関わり方を考えるセミナーにご参加いただけます。

【教員50名様を無料ご招待】

かねてより、教員の皆様よりご要望の多かった「無料招待枠」は先着50名となっております。アンコンシャスバイアス授業の導入検討など、ぜひ、ご活用ください。

2025年のイベントの様子

■ イベント動画

<https://www.unconsciousbias-lab.org/report/20251108/6212/>

■ イベントレポート

<https://www.unconsciousbias-lab.org/report/20250911/5981/>



ハットニヤール博士の研究所について

世界中の“ハツとなる”ものを集めて研究している「ハットニヤール博士®」が設立した研究所。この研究所を訪れると、自らの「無意識の思い込み=アンコンシャスバイアス」に気づき、ものの見方がかわることで、みんなの可能性が無限大に広がっていきます。



プレスリリース

【主催者コメント】

■一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所 代表理事 守屋智敬

今年は、男女平等参画社会をめざし、重点施策としてアンコンシャスバイアスの啓発に取り組む東京都との共催が実現することを、とても嬉しく思っています。過去にイベントに参加した子どもたちによる「アンコンシャスバイアスに気づいてよかった!」という発表動画は、大きな反響をよびました。子どもたちの気づきは、イベント開催の意義や価値を改めて認識する機会にもなりました。また、保護者の皆さまからも、子どもとともに学べてよかったとの声を多数お寄せいただいております。共に学ぶことの大切さを感じています。「ハッ!」となる体験の数々が、子どもたちの可能性が広がる未来への一歩となることを願います。

【プロデューサー紹介】

■株式会社小国士朗事務所 代表取締役 小国士朗

2003年NHKに入局。ドキュメンタリー番組を制作するかたわら、150万ダウンロードを記録したスマホアプリ「プロフェッショナル 私の流儀」の企画開発や世界150か国に発信された、認知症の人がホールスタッフをつとめる「注文をまちがえる料理店」などを手がける。2018年6月をもってNHKを退局し、現職。

がんを治せる病気にするプロジェクト「deleteC」など、幅広いテーマで活動を展開している。

著書に「笑える革命 ～笑えない社会課題の見え方が、ぐるりと変わるプロジェクト全解説～」(光文社)他。

【主催団体の紹介】

■一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所

がんに対するアンコンシャスバイアスをテーマとしたワークショップがきっかけとなり、2018年8月8日に設立。アンコンシャスバイアスに気づくことで、可能性が広がり、一人ひとりがイキイキする社会をめざして、セミナー、監修、講師養成等を実施。これまでに10万人をこえる方々へ「アンコンシャスバイアスに気づこうとすることの大切さ」をお伝えしています。共同研究「がんと仕事に関する意識調査報告書(2022)」を発表。

2021年からは小・中学校での出張授業をスタート。授業をお届けした学校は、全国100校におよびます。

2025年には、小・中学生からの公募によりつくった「アンコンかるた」を発表。現在、100をこえる作品を公開中。

【公式サイト】<https://www.unconsciousbias-lab.org/>

【8月8日は、「アンコンシャスバイアスに気づこう!」の日】

毎年8月8日は、一人ひとりが、アンコンシャスバイアスを振り返る機会となることを願い、制定された記念日です。

<https://www.unconsciousbias-lab.org/88>

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所(担当:太田・坂本)

<https://www.unconsciousbias-lab.org/contact/>